

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	ユネスコ技術援助専門家の派遣		<b>担当部局庁</b>	国際統括官付		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和48年度		<b>担当課室</b>	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XⅢ-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の養成を行う。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	54	49	45	42	42	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	54	49	45	42	42	
		執行額	54	49	45			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国際的な人材の養成は、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる定量的な成果指標の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	派遣者数		活動実績 (当初見込み)	人	5	5	2	-
						( 2 )	( 2 )	
<b>単位当たりコスト</b>	12.3 百万 (円/人)		算出根拠	= 予算執行額 (54 + 49 + 45百万円) / 派遣者数(5 + 5 + 2人) ※平成20~22年度の平均値				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	拠出金	42百万円	42百万円					
	計	42百万円	42百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>今後より政策的必要性の高い部署へ派遣できるよう、本事業による派遣者の職務内容を精査する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の要請を目的とするものであり、今回、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：ユネスコ事務局に派遣している行政官等の人件費の抛出等のために必要な事業であることから、現行において特段の見直す点は認められず、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>この事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の要請を目的とするものであり、現在の事業内容を引き続き維持する。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

## ユネスコ技術援助専門家の派遣

文部科学省  
45百万円

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)

ユネスコ技術援助専門家派遣事業  
45百万円

若手の行政官や研究者等の  
専門家をアソシエート・エキス  
パートとしてユネスコ事務局に  
派遣し、ユネスコ職員の指揮  
下で教育、科学、文化に関す  
る職務に従事させる。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ技術援助専門家の派遣	45			
計		45	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユネスコ	ユネスコ技術援助専門家の派遣	45	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					